

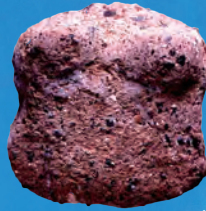


ようこそ 三重の土偶パラダイス

近畿の縄文草創期・早期
の土偶もやって来る!



天白遺跡



神並遺跡



粥見井尻遺跡



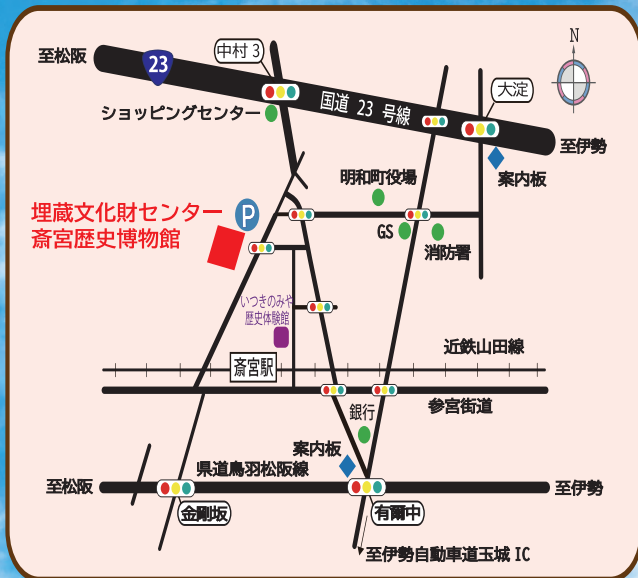
相谷熊原遺跡



天白遺跡

日本最古の土偶の女演!

所蔵・写真提供：滋賀県（相谷熊原遺跡）/ 東大阪市（神並遺跡）



令和5年

12月9日(土) ~ 1月14日(日)

令和6年

会場 齋宮歴史博物館 特別展示室

三重県多気郡明和町竹川 503

開館時間 9:30~17:00 (入館は16:30まで)

休館日 毎週月曜日 (祝日の場合は翌日)

12月29日~1月3日

観覧料 無料

(常設展を見学の場合は別途観覧料が必要)

主催 三重県埋蔵文化財センター

共催 齋宮歴史博物館

三重県埋蔵文化財センター

〒515-0325 三重県多気郡明和町竹川503
TEL:0596-52-1732 E-mail:maibun@pref.mie.lg.jp
URL <https://www.pref.mie.lg.jp/maibun/hp/>

日本最古



相谷熊原遺跡

日本最古



粥見井尻遺跡

西から始まる“土偶ヒストリー”

土偶といえば、遮光器土偶やハート形土偶など、東日本のイメージが強いです。実は日本最古の土偶を含む縄文時代草創期や早期の古い土偶は、三重県や滋賀県など近畿地方に集中しています。

今回の展示では、土偶の始まりから終焉までを見ることで、縄文時代の祭祀や暮らしについて解説します。

写真提供：滋賀県（相谷熊原遺跡）
東大阪市（神並遺跡）



神並遺跡



神並遺跡

三重の土偶が大集合！

縄文時代後・晩期になると、天白遺跡をはじめ、下沖遺跡や森添遺跡など、ひとつの遺跡から多数の土偶が出土するようになり、土偶祭祀は隆盛を迎えます。県下から出土した土偶を一堂に会し、三重に花開いた縄文文化に迫ります。



天白遺跡から出土した土偶

祈りの聖地・天白遺跡

令和5年6月に国の重要文化財に指定された三重県天白遺跡出土品。ここからは70点を超える土偶・岩偶のほか、石棒や朱の生産に関わる遺物など、多くの祭祀遺物が出土しました。配石遺構も多く見つかかり、天白遺跡は西日本を代表する祭祀遺跡といえます。



天白遺跡の配石遺構



記念講演会

「土偶はパラダイスか？」

講師：小濱 学（三重県埋蔵文化財センター）

日時：令和5年12月17日（日）

13時30分から15時（予定）

場所：斎宮歴史博物館 講堂（先着120名）

参加費：無料



（主要展示資料）

- ・（国重文）天白遺跡出土土偶および出土品
 - ・（県指定）相谷熊原遺跡出土土偶（滋賀県所蔵）
 - ・（県指定）粥見井尻遺跡出土土偶
 - ・神並遺跡出土土偶（東大阪市所蔵）
 - ・佐八藤波遺跡出土岩偶（個人所蔵）
 - ・大鼻遺跡出土土偶
 - ・下沖遺跡出土土偶・岩偶（松阪市所蔵）
 - ・森添遺跡出土土偶（度会町教育委員会所蔵）
 - ・下川原遺跡出土土偶（名張市教育委員会所蔵）
- ほか

